

67

昭和十六年

陸支密大目記

三三
3/4

陸軍省

第三号四册之三

陸軍省

秘

昭和十五年四月(第七號。通卷第十七號)

呂集團特務部月報

陸軍省

呂集團特務部

1

陸軍省
陸支密
大目記
S16-10
33

送附先

陸軍次官	廣東特務機關長
參謀次長	上海特務機關長
支那派遣軍總參謀長	蚌埠特務機關長
興亞院總務長官	武昌警備隊長
興亞院華中連絡部長官	漢陽警備隊長
武漢警備司令官	町尻部隊本部宣務部
美座憲兵隊長	武昌分室
松田兵站司令官	漢陽分室
檜垣碇泊場司令官	九江特務機關長
漢口海軍特務部長	南昌特務班長
漢口軍報道部長	呂特上海連絡所
在漢口總領事	各縣政府內面指導官
南京特務機關長	各縣政總備內面指導官
蘇浙皖綏靖軍總司令部顧問部部長	

呂集團特務部月報（國月分）

目次

武漢

司法

- 1 武漢司法部ヲ武漢司法委員會卜改稱ス
- 2 武漢司法部法院組織法ノ廢止
- 3 司法訓練所畢業人員任用辦法ノ制定
- 4 司法官資格審查委員會
- 5 武漢司法工作報告書ノ刊行
- 6 司法訓練所狀況
- 7 武漢司法委員會所屬各機關四月分受理件數並三人員

治安。警務

- 1 治安狀況

- 2 難民狀況
- 3 娼區ノ設定
- 4 司法及違警罪

對民衆工作

- 1 難民救濟狀況
- 2 乘船許可證ノ發給
- 3 小本貸借狀況
- 4 罹災民ノ救濟
- 5 軍隊宿營地區內貧民ノ移轉完了
- 6 乞丐ノ收容
- 7 臨時自治公益會ノ成立
- 8 勞工登記及工會ノ成立
- 9 勞資爭議ノ調停
- 10 東亞運動大會參加狀況

衛生

- 1 コレヲ豫防注射實施
- 2 春季種痘實施
- 3 武昌衛生事務所ノ設立
- 4 妓女檢査所ノ設立
- 5 醫師、士、藥師、助産士、護士、藥劑生、牙醫ノ登記
- 6 診療班業務概況
- 7 防疫
- 8 特殊營業戶數表

教育

- 1 市政一周年紀念祝賀大運動會
- 2 校舍增設準備
- 3 學校衛生
- 4 女子才ノ設置

地區	前月計	本月計	增	減	備考
漢口方面	四五七〇	四六二〇	五〇	二〇	
武昌方面	一七五〇〇	一七四八〇			
漢陽方面	五四五四三	五五三八一	七三八		漢陽ハ難民ノ區別ナシ

3 娼區ノ設定

漢口在住ノ娼婦ハ現在ノ登記人員二百數十名ニ過キササルモ、實數ハ優ニ三千名以上ニ達シアルモノト思料セラル。是等ハ市街ノ隨所ニ散在シ、風紀ヲ害スル一面又汎ク病毒ヲ傳播シ、延テハ皇軍ノ衛生上ニモ累ヲ及ホスヲ願慮シ、統制、取締、衛生上ノ各見地ヨリ全市ニ二十箇所ノ娼區ヲ設定シ、六月末日迄ニ該區域ニ收容シ、妓女ノ登記、等級ノ區分ヲナシ衛生局ノ檢病施設ト相俟ツテ花柳界ノ改善ヲ圖ルコトトナレリ。而シテ武昌、漢陽方面モ逐次漢口ニ準スル方針ナリ。

4 司法及違警罪

本月中ニ於ケル武漢特別市政府警察廳及所屬各局署刑事並ニ違警罪狀況次表ノ如シ

武漢特別市政府警察廳及所屬各局署刑事每月比較表

自三月十六日至四月十五日

件名	四月件數		三月件數		三月人數		增減	
	男	女	男	女	件數	人數	件數	人數
殲人	一	一	一	一				
強盜	三	四	二	二				
搶奪	一	一	一	一				
傷害致死	一	一	一	一				
偽造文書	八	七	一	四	七	四		
公共危險	四	九	一	一	三	一〇		
妨害公務	二	一〇	三	四		九		一

生員六名ヲ配シテ清潔保持ニ努ムルコトトセリ。

4 妓女檢査所ノ設立

妓女檢査所修繕工事ハ三月ヨリ開始シアリタル處四月上旬竣工シタルヲ以テ四月十六日正式設立ヲ了シ近ク檢査實施ノ豫定ナリ。

5 醫師、士、藥師、助産士、護士、藥劑生、牙醫ノ登記

市清衛衛生局ニ於テハ四月十日ヨリ武漢特別市區域内ニ於ケル醫師、士、藥師、助産士、護士、藥劑生、牙醫ノ登記ヲ行ヒ、以後無資格者ニ對シテハ嚴重取締ヲ行フコトトナレリ。

6 診療班業務概況

本月中取扱患者數次ノ如シ

外來	中國人	新患	一、五三一名
	舊患	六、一〇八名	
	日本人	新患	三、六六名
	舊患	一、八六〇名	

入院	中國人	二七二名
	日本人	六〇三名

コレラ豫防注射	中國人	二九五名
---------	-----	------

健康診斷	中國人	七名
------	-----	----

檢査	日本人	四三五名
----	-----	------

明治小學校兒童體格檢査		四五〇名
-------------	--	------

接客業者及其使用中國人ノ健康診斷		一、九九五名
------------------	--	--------

本月ニ入り天然痘患者日本人間ニ發生夥シク新患者十四名ヲ數ヘ何レモ民團隔離所ニ收容シテ其治療ニ當レリ。

又一方班員ヲ派シ、明治小學校或ハ三民路等ニ於テ衛生講話ヲ施行セシメ防疫智識ノ普及ニ力メタリ。

7 防疫

(1) 傳染病發生狀況

シ當分檢閲ヲ憲兵隊ニ於テ行フ。四月二十日ヨリ末日迄ノ當郵局取
扱ヒノモノ左記ノ如シ

南昌出借數 控 留 九江到着借數 控 留

日本人 二九六 一三三

支那人 六六一 二五八 四

5 樂戶（遊廓）公娼ノ施設

風紀衛生公安ノ維持ノタメ樂戶公娼ノ取締及營業稅徵暫行規定ヲ設
ケ特定地區第三市場附近ノ一廓ヲ限リ營業ヲ許可スルコトトセリ。現
在許可シタルモノ三戸ニシテ暫行規定左記ノ如シ

南昌市政府籌備處ニ於ケル樂戶（遊廓）
公娼ノ取締及營業稅徵收暫行規定

第一條 本處ハ娼妓ヲ取締リ社會ヲ改進センカタメ樂戶公娼藝妓ニ
屬スルモノ均シク本規定ニ依リ營業免許證ヲ發給シ營業セ

シム

第二條 樂戶開設ヲ希望スルモノハ本處營業科ニ於テ登記ヲ申請シ

免許證ヲ領得シタル後營業スルコトヲ得

第三條 樂戶開設者ハ左列ノ手續ヲナス

一 戶主、氏名、年齢、本籍、現住所

二 樂戶ノ屋號

三 樂戶ノ所在地

四 公娼ノ名數

五 樂戶ノ等級

六 保證人

第四條 樂戶ハ毎月營業ヲ納メル以外免許證ヲ三ヶ月毎ニ更換シ免

許費及手数料ハ左記三種ニ分ク

甲種ハ免許費二圓、毎月營業稅十七圓

乙種ハ免許費一圓、毎月營業稅十圓

丙種ハ免許費五十錢、毎月營業稅七圓

第五條 各種樂戶ノ所有公娼八十名未滿トス

第六條 樂戶ハ屋號規定左ノ如シ

甲種ハ〇〇「掌」ト稱シ

乙種ハ〇〇「班」ト稱シ

丙種ハ〇〇「居」ト稱ス

第七條 各種遊廓ハ本處警務科ヨリ燈（硝子製）ヲ領得シ玄關ノ上

ニ鈎リテ識別ニ資ス（灯代三圓）

第八條 公娼ヲ希望スルモノハ左記ノ届出ヲ爲ス

一、姓名、年齢、本籍、現住所 二、本家ノ職業

三、親類ノ有無 四、公娼ニ希望スル理由

五、志願スル娼妓ノ種別 六、保證人

第九條 公娼ハ一、二、三種ニ分ケ各種樂戶ニ於テ營業シ毎月營業稅ヲ

納メル以外免許證ヲ領有シ三ヶ月毎ニ交換シ免許費及營業

ノ一回分ハ左ノ如シ

一種、免許費一圓毎月營業稅五圓

二種、免許費八十錢毎月營業稅四圓

三種、免許費六十錢毎月營業稅三圓

第十條 娼妓トシテ免許申請ノ時ハ四寸半ノ寫眞二枚ヲ添付シテ一

枚ハ警務科ニ保存シ一枚ハ免許證ニ貼付ス、又三ヶ月毎ニ

寫眞貼付交換申請ス

第十一條 藝妓ハ毎月營業稅ヲ納メル以外免許證ハ六ヶ月毎ニ更換シ

營業稅及免許費ハ左ノ如シ

免許費一圓、毎月營業稅三圓

第十二條 各種娼妓ノ花代並ニ出局（宴會應召）金ハ左記ノ規定ヲ超

過スルコトヲ得ス

一種ハ一晚十圓、二種ハ一晚八圓、三種ハ一晚六圓、出局

一回一圓

第十三條 樂戸ノ公娼トシテ營業ヲ停止シ出嫁スル者アル時ハ免許證

第十四條 各種娼妓ハ每週一回醫務所ニ赴キ検査ヲ受ク、若シ疾病アル時ハ治療期間ニ於テハ營業ヲ停止スルコト

第十五條 出局娼妓ハ必ス局票ヲ携帯シ局票ハ一枚ニ付二十錢トシテ本處醫務科ヨリ購入ス

第十六條 樂戸トシテ左列ノ一ヲ有スル時ハ本處ヨリ適當ニ處罰ス
一 樂戸免許證ヲ故意ニ訂正セルモノ
二 收容者年齢十六才未滿又ハ十六才ノモノニシテモ發育健全ナラサルモノ

三 原配遇者ヲ有シ娼妓生活ヲ後悔セルモノ

四 良家婦女ヲ誘致セシモノ

五 娼妓ノ人数ヲ隱瞞スルモノ

六 娼妓ノ出局ニ不事實ヲ記入シ又故意ニ訂正セシモノ

七 娼妓トシテ出嫁セントスルモノヲ故意ニ留メタルモノ
八 其ノ他一切本規定ヲ違反セルモノ

第十七條

娼妓トシテ左列ノ一ツヲ有スル者ハ本處ヨリ適當處罰ス

一 免許證ヲ故意ニ訂正セシモノ

二 出局票ニ記入セシ妓名、時日、場所カ符合セヌモノ

三 娼妓トシテ樂戸ニ入ラス私自ニ營業スルモノ

四 花柳病ヲ有シナカテ隱瞞スルモノ

五 其ノ他一切規定ヲ違反スルモノ

第十八條 本規定ハ參事會ニ於テ隨時訂正スル事ヲ得

第十九條 本規定ハ公佈日ヨリ施行ス

〇 阿片吸飲所ノ設置

戒煙暫行辦法及施行細則ヲ制定シ吸飲所ヲ設置セリ。大体市内各要所ニ八ヶ所ヲ許可スル豫定ナルモ現在許可セルモノハ二ヶ所ナリ。暫行辦法及施行細則左記ノ如シ